

## 〔自由意見（抜粋）〕

### 【女性】

#### <20歳代>

- ・ 男女共同参画を進めても、都会の方だけ目立った動きがあつて、田舎の方になると、そういう動きはないような気がする。もっと幅広く進めていってほしい。
- ・ 女性が社会に進出していくためには、地域、企業が、女性が働きやすい体制を整えるべきである。また和歌山のような地方都市では、特にそのような体制を整えることが必要だと思う。
- ・ 男女間での“差別”があつてはならないという意味での男女平等は理想であっても、すべてにおいて同じ条件でならないとは思わないし、男は男の、女は女の（昔からの慣習的な）役割を果たす（担う）ことに特に違和感を持っていない人もいるということも考慮すべきだと思います。“男女共同参画”が可能な状態にし、一人一人が自分の生き方を自ら“選べる”社会が理想だと思います。（「平等であることを強制しすぎてもなじめない人もいると思う」という意味です。）
- ・ 県内で女性が仕事をする場が非常に少ない。私の身近な人は大半は大阪へ仕事をしに通っている。県内で職を見つけても、パートであつたりすることが多い。女性は「結婚して、旦那さんに食べさせてもらおう」という考え方を持つ友人が多い。男性優位になるのは仕方がないと思う。男らしさ、女らしさは、人間として持っているもので、平等にするところと差別するところの確立は難しいと思う。一番、職場内での男女差別があると思う。女性は結婚したら仕事を退職する人が多いし、育児支援ができる企業は大企業でしかできないと思う。企業支援も大変重要であると思う。女性が活躍できる職場が増えたら、男女平等になったなあと思えると思います。
- ・ 男女を分けたりすることは難しいと思います。性別で決めるのでは納得できないけど、私達の年代は男女の差別がまだ残っていることを知っている。女性が社会へ出ることはいいと思うが、そうすると少子化は進む気がする。でもそれをどうするかは、これからの日本の課題な気がします。ただ、女性の意見も大事にできる日本になっていけばいいなあとは思っています。男女差別の問題は本当に難しいです。
- ・ 和歌山県は特に女性の政治への進出が少なく、女性の意見を取りあげる場所がないと思います。そのため、政策等を見ても男性優位の傾向が多く見られます。各地域においても、同じ事がいえると思います。
- ・ 2年前、育児休暇終了日に、明日から仕事というときに、解雇になりました。自分は仕事する気で休暇をもらっていたのに、「戻ってくると聞いていなかった」とか「休みの日がなくなる」とか意味のわからない事で解雇です。労働基準監督署に相談して、解決したのですが、育児休暇とはそういうものなのか？ と思います。田舎だからなのかもと考えてしまいます。今後、そういう方が増えないためにも、考え直して欲しいと思います。お願いします。
- ・ 私はまだ子どもがいないのですが、身近な人に子どもがいるけれど働いている方がいます。その方は子育てと仕事の両立はやはり無理があると言っています。その理由として、不規則な仕事であること。託児所はあるが、時間制限や周りの理解が得られにくいこと。子どもがかわいそうと言い、仕事を辞めるか悩んでいる人がいます。ちなみにその方の子どもは、2歳です。小学校に入るまでの期間の親との関わりはとても重要です。もっと働きやすい環境・労働条件を整えていくべきだと思います。よろしくお願いします。
- ・ 男の活躍舞台は「社会、職場」であるのだから、職場で考えを改善できるようなものを行政は企業におろしていくのが一番良い。いくら〇〇法、〇〇支援などといっても、身近に感じられていない。とにかく、毎日いるところで、それが当たり前なのだと思うのが一番の意識改革につながる。身近に感じられない法案だけの施策だけじゃ、本当に時間の無駄。法案やコミュニティや窓口を作ったのなら、それを企業、職場を通じて、利用させ、男に平等意識を与えないと！ 文面や広告でいくら「男女平等な自治体なんだ～、和歌山って！」と思われても、中味が伴ってなければ意味がない。企業は出産後退職をするという田舎意識をなくすよう努力、改善してもらいたい。それを県に推進してもらいたい。でない、都会からのお嫁さんなど、皆無になるだろう。そして過疎化が進み、和歌山の未来はないと思う。もっと努力してほしい。嫁いできてげんなりしています。

#### <30歳代>

- ・ 現在「男女平等」というスローガンのもとに、取り組まれていることは、女が従来の男の領域に入り、男の生活スタイルと同じようにすることを目指しているばかり（女が男と同じようにできるようにすることを目指す）のような気がして、女の変化のみを求めているようで違和感を感じます。男の働き方（長時間労働、転勤など。）を変えること。子育てのマイナス面ばかり取り上げず、楽しい部分をもっと見直せるよう（働くことが良いことで、家事や育児はその次といった価値観の見直し）の方が大事なのではないのでしょうか。家事や子育ても全てが効率優先になっている社会そのものに問題があると思います。

<30歳代>

- ・ 女性はやはり家庭にいて、男性に外で一生懸命働いてもらえるよう、家事、育児等したらいいと思います。食生活の乱れ等から犯罪等が増えてきているように思います。愛情のこもった家庭料理を食べていれば、犯罪は少しは減ると思います。母親が家庭にいない子どもたちは、何かしら、さびしい思いをしていると思います。男性が一生懸命仕事できるよう、支えてあげたらと思います。（私自身の理想ですが。）
- ・ 男女が平等に社会に出て仕事や地域活動に携わるためには、育児支援の場を充実させていくべきだと思います。なぜなら、おそらく夫か妻かどちらかが子どもの面倒をみるということになると、「妻」となる割合の方が高いと思うから。経済的な支援よりも、安心して子どもを預けられる環境づくりの方が大切だと思います。
- ・ 自分の子どもを自分の手で育て、しつけするということも大切だと思います。保育施設の充実等、働きながら子どもを支援する環境の整備も必要ですが、子育てが落ち着いてからの再就職も、年齢制限があったり、子育てに専念している期間のブランクで再就職に不利な影響があるので、その辺の環境の整備もしてほしいです。
- ・ やはり男女平等と言っても男性は出産できず、女性のみのものであるため、子どもの育児、教育は女性中心になってしまうとは思いますが、社会全体が、産後も、女性が職場復帰でき、子どもが病気などでも休暇をとれたり、とにかく社会に出やすい環境を整えてほしい。今は、雇用、採用時に男女の差はほとんどないと思うが、出産後、男女が社会に出る際に差が出てきてくると思う。
- ・ 育児休業を全ての企業が男性にも取れるように必ずしてほしいです。それでないとも子どもの数はどんどん減少するでしょう！！
- ・ 基本的に男にしかできない、女にしかできないという事も多くあると思っているので、一概に、男女平等が良いとは言えません。が、男だから、女だから、こうすべきという考えをなくし、個人が尊重されれば良いと思う。男でも女でも、同じ条件にした上で、個々で選択できるような形になれば良い。あと、子どもがいるので、性犯罪等の問題に力を入れてほしいと思います。
- ・ 地方自治体が積極的に進めると共に女性自身ももっと積極的であらねばならないと思う。和歌山県は特に“自分の力で”が足りない。若い女性のパワーが弱いように思う。もっと元気に！！ 明るく！！
- ・ 福井で男性（父親）の子ども（保育所）のお迎えを企業が勤めるよう指導した結果、出生率が上昇したそうです。女性が男性同様の社会参加をすることができるようになる事で、出生率の低下問題まで解決できると思う。
- ・ 和歌山で私の知るところ、女性の人がんばって研修、勉強しているなど思うところがありますが、女性の中でも、そういうことをよく思わないふしもあります。まず女性の人から意識を変えていき、子どもたちが、健全な心で自分たちの和歌山を愛し、育てていけるよう、男女共により知恵を出し合い、日々進化していけるような体制を作っていくってほしいのと、和歌山に生まれ、育ってきた、次の世代もそうやっていけるよう、明るい開放的な地域作り出来るようがんばってください。和歌山独自のプランを男女共同で作っていくってほしいです。
- ・ 会社の説明会などでも、人事部長や役員が出てくるのではなく、女子社員を中心とした説明会が有ってもいいと思う。多分一般的に出世する女子社員はまだまだ少ないと思うけど、そういう発表する場がとても少ない。女性が男女平等について話し合っても、なかなか世間では認められにくいので、その逆で、男性にもっと男女平等についてどんどん意見を出してもらいたい。どのぐらいまともな男性がいるのか、見てみたい。
- ・ 男女平等とうたわれていても、保守的、封建的な考えが多数を占めている現状では、男性側の意識改革が進んでいないからだと考えがちだが（もちろん、それは往々にしてあるけれども）、女性の側にも「男は仕事、女は家庭」という考えを持つ人が多いのが嘆かわしいことであると思う。両性は本質的に平等であるのだから、その意味をもっとわかりやすく、都合のいい部分だけ平等と呼ぶことのないよう、行政が啓発していくべきだと思う。女性の意識改革が重要だと思う。
- ・ 男女の雇用機会均等を進めても、同等に働くために産む性である女性が、結婚や出産をあきらめるのであれば、それは女性の男性化であり、共同参画とは言えない！！ まず、出産・育児を優先できて、再度、社会復帰しやすい、もしくはそれが当たり前な世の中が理想的です。そのためには、ぜひ子育て中のお母さん達を社会に呼び戻してください。子どもを産んでる人、大歓迎という風に！！ ただし、保育料や子どもの事で休みを取るのを悩むような現況では無理です。無料の託児サービスや一時預かり等の充実等、たとえ税金が増えようとも、社会全体で母親を支えていくことこそ、女性の地位向上であり、真の共同参画だと思います。

### < 30歳代 >

- ・ 男女平等というのは理想です。家事などの分担は共働き世帯が増えているので平等で……と思います。でも女性はほとんどが産後をします。公務員は育休後、復帰はたやすいが、一般企業では難しい。育休明けについて行けず、退職になるのが多いように思います。これからも一般企業での男女平等（本当の意味で）は無理だと思えます。男女平等を実行しているのは公務員の人達だけでしょう！ 一般企業に勤めている人の方が公務員の人より多いのだから、一般企業で男女平等をすすめて行ってください。
- ・ 女性が現在、仕事を持って家事、育児もしている。女性が働きやすいように、育児などの支援センターが増えるといいと思います。

### < 40歳代 >

- ・ 性別、年齢に関係なく、再チャレンジできるチャンスがほしい。やりたいことや目標ができた時、もう一度高校や大学に行き、勉強し直したり、資格を取ったりということが普通にできるように、県や学校がサポートし、社会の意識改革が進めば良いと思うし、ぜひ実現してほしい。男女共同参画ではなく、社会人、人間として参画する力が出てくるのではないのでしょうか。
- ・ 古い世代の考え方として男は……とか女は……とか何かと話題になりますが、今の若い世代の子どもたちは、まったく違った考えのように見受けられます。特に男女と意識せず、やれる方がやるという日常生活のようです。何ごとにおいてもかまえることなく、男女がそれぞれの得意な部分を生かして協力していける社会であることが大切かなと思います。表題の必要性のない社会になることを願っています。女性がもっと女性としての誇りをもって生きてほしいと思います。
- ・ 女性が仕事をした場合、子育て、介護もやはり全部女性にかかってくるので、常勤とはなりにくい。パートの場合は、年間103万円までと制限があり、働ける場所が少なく、職場にも迷惑になる。それに出産、育児のために仕事をやめると管理職にはなりにくい。女性が子育てはがんばっても、何も保障してくれない。パートでも社会保険に入れば良いと思う。賃金も少なく、労働時間が守られていないところがあるので。
- ・ 求職活動をしています、近くに親類がまったくおらず、それが理由で数件不採用になりました。小学校まで送迎がいる距離のため、働ける日時が限られており、学童保育も3年生までのため、長く働けるところを考えると、なかなかみつかりません。以前、ハローワークの人に、子どもが病気の時は祖母が子守をするというので採用しても、結局子どもを理由に多く休むから、「子持ちの人は信用できない」と言われました。育児支援をもっと柔軟に展開してもらいたいです。
- ・ どういう風に変えていくにしろ、まず男性の意識改革が最初のステップだと思います。どれだけ女性が社会進出しても、収入が増えても、それを「ごつい女だ」「きつい女だ」と嫌う男性が存在する限り「雇用機会均等」も「共同参画」も名ばかりになってしまいます。まず男性の意識改革でしょう。
- ・ 和歌山県は男女平等に対する意識が他府県と比べ非常に低い。女性は結婚が一番の幸福、子どもは産むのが当然、子育ては女性がすべき、親の世話は嫁の役目、財産は長男が継ぐ。家事労働を男性にさせる事など、とんでもない。そういう教育が代々親から子、子から孫へと、確実に伝わってきているのが和歌山です。アンケートもよいと思いますが、男女の人権教育は、まず年配の方からされたらよいと思います。
- ・ 男女平等の社会を目指す必要があります。そのためには次世代を担う子どもたちの教育現場から意識変革が必要だと思います。女性も外で働いて当然な社会（男性と同様）づくりのためには、県職員の共同参画状況をもっと県民に知らせるべきだと思います。
- ・ 男性には男性の、女性には女性にしかできない役割というのがあると思います。その部分を尊重しながら、男女共同参画というものを進めていただきたいと思います。
- ・ 男性と女性では本質的に異なる部分（女性は妊娠できるが、男性はできない等）があるので、全く平等にというわけにはいかないが、身体的違い以外の能力の面では平等に扱われるべきだと思う。
- ・ 男女平等と昔よりは少しは良くなっているけど、でもまだまだ仕事にせよ、結婚、育児に関しては、まだそれほど平等でない。一人子どもを産むのにしても、そして、結婚をしても、相手が死別して、生活していくのがしんどいのです。少くも余裕でもあれば、和歌山でも住みよい仕事の環境のいいような、町になってほしいです。自立した生活もいいけど、今のままでは難しいですね。母子にも住みよい仕事のできる環境にしてください。

### <50歳代>

- 徐々に男女共同、平等が認められてきていると思いますが、まだまだと感じています。家庭においては夫婦の生き方によってよく話し合い、同意の上で、世間体を気にせず、行った方がいいと思います。しかし、地域や職場においては、しきたりや世間全体の考え方は男女平等とまでは言えない点もあると思います。やはり男性でも女性でも地域や職場、社会全体を良くするために、頑張っていくことが大事だと思います。
- 女性を守る法が整備されていますが、実際職場で利用することが難しい現実があると思います。それは人員不足であったり、職場での認識不足であったり等、問題が多いです。公務員等比較的に使いやすいところと厳しい職場があることをわかっていただきたい。男女共同参画事業の取組に期待しています。
- 私の年代では責任の重さから逃れたいという、楽をしたいという甘えで、男性中心の社会を認めている女性が多い。いろんな場所に出て行って、いろんな人の話、講演を聞く機会を持つところから始めないといけない。
- 男女平等の視点から、県職員から男子も育児休暇を取るようには。

### <60歳代>

- 男女共同参画用語はほとんど知りませんでした。男女平等といって本当に平等なのか、都合のいいところだけ女性も主張して、全体を見たら、本当の平等になっていないように思う。男性も女性も気分良く過ごせる社会ができるよう、育児、家事もお互い出来るところは助け合い、やはり昔のように、男は男らしく、女は女らしく。これは差別ではなく、人間の持っている気質を大切に、自然に生活できたら良いなあ、と思います。
- 男女共同参画とは、私にとっては当たり前のことであり、施行された時には「何を今さら」と思ったものです。でも、周りを見てみますと、出る杭は打たれるというように、女性が上司になれば、何かと反発をする慣習に従っているように見受けられます。特に日本では男尊女卑の時代が長く続いたからでしょうか、すぐに改善されるものでもないでしょう。ではどうすれば良いという考えも浮かびませんが？女性のためのチャレンジカフェ、起業塾開設などは県もがんばっているんだなあと感じがいたしました。私ももう少し若ければ参加したいと思います。やる気のない若い人達を見れば、少しイライラしているこの頃です。
- 私達の年齢では、女性が家の中のことをするのは当たり前のようになってきたし、男性も当たり前と思っている。今さらこの事業で考えが変わるとは思わないが、これからの人たちには少しは女性の大変さ、男性の仕事の大変さをお互いに分かり合い、いたわり合える世の中になれば良いと思う。でも、いきすぎると、男性、女性の、特質をなくし、中性化し、気持ち悪く乱れた世の中になってしまう。女性の言葉遣いしかり、強くて逞しい男性、優しく慈悲深い女性がなくならないように願っている。
- 男女平等に働くことに全く異論はないが、そのため、家事、特に、食生活に悪影響を及ぼしていると感じます。男女を問わず、家事、育児等の能力の優れた人材を公報等で募集するだけでなく、（自己申告に頼るだけでなく）各地域で掘り起こす、その人達に活躍してもらえば、本人は生きがいを得（もちろんボランティアで）一石二鳥と考えます。

## 【男性】

### <20歳代>

- 一番大切なのは幼少からの教育であろう。幼い頃から男女平等を「普通」としてしまえばよい。ただし、この教育は学校や家庭だけでなく、地域全体で取り組む必要がある。県ではまず、この教育を意識した制度やイベント等を積極的に取り組んで欲しい。
- 男女「平等」が叫ばれているが、「平等」は男性と女性が「同じ」ということだろうか。よく過度な男女平等が叫ばれているような気がする。生物学的に男性の特徴、女性の特徴というものは、意識では変えられないものである。適性に応じた役割分担が必要ではと思う。したがって、むやみやたらと女性の働きを増やそうといった運動だけでは、平等を達することはできないと思う。重要なのは男性、女性がそれぞれの違いや特性を意識し、尊重し合うことではないだろうか。絶対的平等でなくても相対的平等を目指してほしい。また「参画」といったからには、見えない部分での参加（意見を聴く機会を増やす等）を推進しなければ、目的を達することができないと思う。難しい問題ではあるが、このように取り組まれることを県政に期待しております。
- 男女の平等は大切だが、違いを尊重するという事も忘れてはいけないと思う。

### < 20歳代 >

- 男女平等な社会をつくるには、子どもの頃からキチンとした教育をすることにより偏見を持たないようにするのが一番大切だと思う。偏見を持った大人にいくら啓発しても効果は期待できないが、子どもへの教育に重点を置くことにより、「男女平等な考え方」「偏見を持たない考え方」を芽生えさせることができると思う。

### < 30歳代 >

- 具体的な支援策に欠けている。→家事の男女平等がされていないから少子化が進んでいる。現在の家庭でも子どもを多く養育できる支援がない。3人目以降の支援、買い物等での割引など（石川県）  
将来的にはではなく、現在できることへの取組が遅い。やるなら今すぐ取り組み、来年からできる行動をとっていただくだけのスピードが足りない。
- 基本的に賛成で、実行していることも多いですが、職に対する考え方や生活の中で、女性の意識が平等を望んでいないケースも多い。例) 責任ある仕事につきたくない。専業主婦で楽に暮らしたい等。
- 残念ながら、人間には生まれ持った能力があり、（努力だけではいかんともしがたい。）それは、各々の得意不得意にもつながる。決めつける訳ではないが、概ね女性の方が家事に向いている傾向がある。それはその人たち自身が選ぶ、選択する雰囲気を作り出す。自分自身で選択させれば良い。男女共同という逆逆に女性が優遇される傾向にあり、行政としては個人でその人にあった生活スタイルを選択すれば良いのだという環境、雰囲気を作れば良い。
- 現在の就職において、子どもが小さいことなどで急な休みの希望などは嫌がられることが多く、また同様の理由で就職の機会がなくなる場合もあると思います。子どもを保育所などへ入所させたとしても、その支払いが高額であり、また控除も廃止（扶養控除など）があり、ますます生活が厳しくなっています。男女が働く環境を作ることが、今後、子どもたち、少子化に対しても、有用なことだと思います。
- 男女平等っていいですが、何が平等かわかりません。でも、人それぞれの感じ方でいいじゃないかな？
- 女性が職に就くには、保育施設や子育てを支援する社会的援助が不十分である。だが子どもの立場に立つてみると、やはり母親が家庭にいてくれた方がよいのではないのでしょうか。あと、職場での昇進について。やはり男性優位であるのは改善する必要があると思う。管理職も男女平等であるべき。

### < 40歳代 >

- 男女が平等に共生できる社会を推進することは素晴らしいことだと思います。しかし、私たちはカタツムリではありませんので、男と女は同一ではありません。男性と女性がお互いを尊重し、いたわり、補うような明るい社会を作ることが大切だと思います。このアンケートに答えていて、部分的に女性の男性に対する偏見やジェンダー思想への誘導尋問的な設問を感じました。「男性のために」とか「女性のために」という観点ではなく、社会のためにどのような生活環境にしていくことが大切なのかという視点で、県は仕事に取り組んで頂きたいと思います。北欧の人々は自然を愛します。また、男女の共生が進んでいると聞きますが、反面で、犯罪が非常に多い国々でもあります。これまで日本の女性が家庭で行ってきたことは「育児」という単純なものではなく、家庭教育という意味で、日本の社会の基本を作ってきた、大きな貢献があったと思います。私は主婦業や親業を軽視することは社会を崩壊へと導く危険な考え方だと思っています。
- えてして過剰に反応したり、主旨とは違った方向での議論が行われることが多々あるように思われる。また、一部の強行論者に押し切られたりすることも見受けられる。早急に改善を図ろうとするのではなく、特に保守的傾向の強い和歌山の土地柄を考慮し、基本的な部分から徐々に周知、浸透させていく方が、長期的に有効であると思う。
- 男女平等の社会を作ること大事だと思うが、男、女、という前に、ひとりの人間としての個性を生かす社会づくり。TVなどでやたら“ジェンダーフリー”を唱える文化人がいますが、女性でも男性でも家庭に入るのが好きであったり、人それぞれの生き方があります。だから社会はその人の力量で受け入れられる体制を作れば良いと思う。
- 男女平等の視点で社会制度や慣習を見直し、啓発していくことは必要と感じています。でも現実に家庭では妻が家事をし、私は力仕事と自然と役割分担ができています。妻にとっては平等ではないかもしれませんが、家庭では親と同居していたため、その家に合った慣習で行っている。男女共同参画を進めることは良いことと思いますが、今までの日本の文化も習慣も少しは認めたいですね。
- 女性という理由のみで審議会などの委員に選出する必要はないと思う。各々の分野から代表してというスタンスが必要。ただ女性を入れるということ自体が政策の目玉にもなったりしている現実がある。なんだか誘導している感じもあることは事実。男、女の性別にかかわらず、人は各々異なっているということを常に思い、尊重し合えばいいと思う。

#### <50歳代>

- ・ 女性自身が社会の一員であることの自覚をし、甘えを無くすとともに、女性を受け入れる社会の仕組みを変えること！！
- ・ 昔からの風習、慣習等もあり、男尊女卑（男性優位）が根強くあると思います。女性の社会参画、総合職への女性の登用（採用）等も進んできていますが、まだまだ不十分に思われます。しかしながら、男性に向けた職業、女性に向けた職業があるのも事実です。一人の女性が生涯に産む子どもの数が年々減少してきているのは憂慮すべき又、必ず何らかの対策が必要な事象です。県、国の対応が必須です。
- ・ 子育てが終わった女性の再採用などは、積極的に行うべきだ。育児や介護で仕事をやめても戻ることのできる（再雇用）職場づくり。

#### <60歳代>

- ・ 男にはできても女性にはできないこと、逆に女性にはできても男にはできないことはあるはず。お互いに相手の特徴を理解し、尊重し合うことが真の平等であると思う。
- ・ 女性の社会参画に対する意識に大きな個人差があると思う。しかし、それも大切にしなければならないことだと思う。結婚して子どもを育てることに本心から意義を見だし、家事、育児に専念する女性も、社会の中で尊重する風潮も作っていかなければならないと思う。全員が社会参画、共同参画と言って、社会へ出る事ばかりを重視すると、必ず子育てにひずみが出てくると思う。子育てを社会に任せるのも一方だが、やはり親がじっくりと責任をもって行うべきである。ひずみの生じないうちに手を打つことが大切ではないでしょうか。
- ・ 学校における男女平等（家庭ではもちろん）の教育を充実して欲しい。新聞、雑誌、テレビのメディアでの過度の性の暴力が目立っています。何とかならないのかと思います。
- ・ 女性が仕事、結婚、子育てに、大きな負担を感じないような施設、給与等を充分なものにする必要があると思います。無駄のない税金の使い方をお願いします。

#### <70歳以上>

- ・ 男女共同参画は永遠の課題だと思います。男性と女性は昔から区別されてきたし、現にある面ではハッキリしている。共同参画はゆっくり、あせらず、短期的な効果を測定せず、10年、20年先の事を今取り組んでいるのだという意識で、活動せねばと思います。

#### 【性別・年齢無記入】

- ・ 女性の採用を増やせば、企業にとって得になるような条件を作り、子育ての面で保育所の充実を図り、女性がやめなくてもいいようにする。
- ・ もう少し男性も育児や家事について勉強したり、そういう事が出来るよう手助けしてほしい。
- ・ 「男女共同参画」というあいまいな概念が、よく理解できないでいる。現実問題とどう関わってゆくのかよく判らないところがある。
- ・ 男女平等といっても、男と女の違いを認識するべき。
- ・ 女性が働くとうとうしても家事の負担が増えます。男性より女性の方が労働時間は長い。疲れる。北欧のように夫婦で1.5人分働ける、フレックスタイム制度や、パートとフルタイムを自由に選べる制度を充実して欲しい。“共働きの家庭の一番の被害者は子どもたちです。”
- ・ 基本法や均等法など政策や方針はすばらしいと思いますが、それがなかなか実際の生活に浸透してきていないように思います。これは古くから日本の美徳と考えられた部分にも原因があると思われまので、教育の現場（教育、家庭）でしっかりと日本の将来を担う子どもたちへの教育をお願いしたいと思います。

